

◎ 国際復興開発銀行協定の改正

平成二十一年	一月	三十日	ワシントンで採択
平成二十四年	六月	二十七日	効力発生
平成二十一年	七月	三日	国会承認
平成二十一年	七月	十四日	受諾の閣議決定
平成二十一年	七月	十四日	受諾書寄託
平成二十四年	六月	十三日	公布（条約第五号）
平成二十四年	六月	十三日	告示（外務省告示第二百十二号）
平成二十四年	六月	二十七日	我が国について効力発生

目次	ページ
第五条第三項(a)の改正	二三

国際復興開発銀行協定第五条第三項(a)を次のように改める。

第三項の改正

第三項 投票

- (a) 各加盟国の投票権数は、基本票数と保有株式数に基づく票数との合計に等しいものとする。
- (i) 各加盟国の基本票数は、すべての加盟国の投票権数の合計票数の五・五五パーセントをすべての加盟国の間に均等に分配して算出される票数とする。ただし、基本票数は、一未満の端数を伴ってはならない。
- (ii) 各加盟国の保有株式数に基づく票数は、自国の保有する一株株式ごとに一票を分配して算出される票数とする。

AMENDMENT OF THE ARTICLES OF AGREEMENT OF THE INTERNATIONAL BANK FOR RECONSTRUCTION AND DEVELOPMENT

Article V, Section 3 (a) of the Articles of Agreement of the Bank shall be amended to read as follows:

Section 3. *Voting*

“(a) The voting power of each member shall be equal to the sum of its basic votes and share votes.

- (i) The basic votes of each member shall be the number of votes that results from the equal distribution among all members of 5.55 percent of the aggregate sum of the voting power of all the members, provided that there shall be no fractional basic votes.
- (ii) The share votes of each member shall be the number of votes that results from the allocation of one vote for each share of stock held.”

(参考)

この改正は、銀行の機能を強化することを目的として、基本票の増加を行うための改正について定めるものである。